

**Product Code : 18356**

**Product Name : Anti-Human GRO $\alpha$ /MGSA (C) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 100 $\mu$ g はアジ化ナトリウム不含ですが、容量 2x5  $\mu$ g はアジ化ナトリウム含有です。  
製品の毒物劇物情報は、SDS をご覧ください。

[IBL 製品 法規制一覧の詳細はこちら](#)

## 1. 化学物質及び会社情報

製品 : 表紙に記載  
製品詳細 : 精製抗体及び精製標識抗体 (凍結乾燥品)

### 会社情報

株式会社免疫生物研究所  
〒375-0005 群馬県藤岡市中 1091-1  
TEL : 0274-50-8666 FAX : 0274-23-6055  
URL : <https://www.ibl-japan.co.jp/> E-Mail : [do-ibl@ibl-japan.co.jp](mailto:do-ibl@ibl-japan.co.jp)

### 危険有害性を有する化学物質

化学物質	CAS 番号	含有量 (w/v) %
アジ化ナトリウム	26628-22-8	約 5 % (所定量に再構成後 0.05 %)

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類、GHSラベル要素

#### GHS分類

##### 物理化学的危険性

自己反応性化学品 : タイプ G

##### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分 2  
急性毒性 (経皮) : 区分 1  
皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1  
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 1 (心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性)  
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (中枢神経系、心血管系)  
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 2 (肺)

##### 環境有害性

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1  
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 1

#### GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険

#### 危険有害性情報

飲み込むと生命に危険  
皮膚に接触すると生命に危険  
重篤な皮膚の葉傷及び目の損傷  
重篤な目の損傷  
臓器の障害 (心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性)  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (中枢神経系、心血管系)  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (肺)  
水生生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

##### 安全対策

環境への放出を避けること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
眼、皮膚、衣類につけないこと。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。  
保護眼鏡/保護面を着用すること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

**応急措置**

- 漏出物を回収すること。
- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水／適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

**廃棄**

- 内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報****化学物質・混合物の区別**

混合物

成分名	成分名【別名】	含有量	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
アジ化ナトリウム	-	5%	26628-22-8	1-482	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

**危険有害成分****毒物及び劇物取締法「毒物」該当成分**

アジ化ナトリウム

**安衛法「表示すべき有害物」該当成分**

アジ化ナトリウム

**安衛法「通知すべき有害物」該当成分**

アジ化ナトリウム

**化管法（令和5年3月31日まで有効）「第1種指定化学物質」該当成分**

アジ化ナトリウム

**4. 応急措置****応急措置の記述****一般的な措置**

- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

**吸入した場合**

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

**皮膚に付着した場合**

- 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 皮膚に付着した場合、多量の水／適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合、医師の診察／手当てを受けること。

**眼に入った場合**

- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合、医師の診察／手当てを受けること。

**飲み込んだ場合**

- 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 直ちに医師に連絡すること。

**5. 火災時の措置****消火剤****適切な消火剤**

- 火災の場合は霧状水、泡、乾燥砂を使用すること。

**使ってはならない消火剤**

- 不活性ガス消火設備

ハロゲン化物消火設備  
粉末消火設備ーりん酸塩類等を使用するもの  
粉末消火設備ー炭酸水素塩類等を使用するもの  
粉末消火設備ーりん酸塩類等、炭酸水素塩類等 以外のもの  
二酸化炭素を放射する消火器  
ハロゲン化物を放射する消火器  
消火粉末を放射する消火器ーりん酸塩類等を使用するもの  
消火粉末を放射する消火器ー炭酸水素塩類等を使用するもの  
消火粉末を放射する消火器ーりん酸塩類等、炭酸水素塩類等 以外のもの

**特有の危険有害性**

加熱すると容器が爆発するおそれがある。  
火災によって刺激性、有毒及び／又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

**消火を行う者への勧告****特有の消火方法**

関係者以外は安全な場所に退去させる。

**消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**

防火服又は防災服を着用すること。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

回収が終わるまで十分な換気を行う。  
適切な保護具を着用する。

**環境に対する注意事項**

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。  
粉じんが飛散しないようにする。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

掃き集めて、容器に回収する。

**二次災害の防止策**

漏出物を回収すること。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
(火災・爆発の防止)  
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

**安全取扱注意事項**

(局所排気、全体換気)  
排気／換気設備を設ける。  
(注意事項)  
皮膚に触れないようにする。  
眼に入らないようにする。  
保護手袋／保護衣／保護面を着用すること。  
保護眼鏡／保護面を着用すること。  
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

**接触回避**

「10. 安定性及び反応性」参照

**衛生対策**

眼、皮膚、衣類につけないこと。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

**保管****安全な保管条件**

容器を密閉しておくこと。

直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管する。  
施錠して保管すること。

#### 安全な容器包装材料

ガラス  
ポリエチレン

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 管理指標

管理濃度 : データなし

#### 許容濃度

(その他の無機および有機粉じん (第3種粉じん))  
日本産衛学会 吸入性粉じん 2mg/m<sup>3</sup>  
総粉じん 8mg/m<sup>3</sup>  
(アジ化ナトリウム)  
ACGIH (1996) STEL : 上限値 (アジ化ナトリウムとして)  
0.29mg/m<sup>3</sup> ; (アジ化水素酸の蒸気として)  
0.11ppm (心臓障害; 肺損傷)

#### ばく露防止

##### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。  
洗眼設備を設ける。  
手洗い/洗顔設備を設ける。

##### 保護具

###### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

###### 手の保護具

保護手袋を着用する。

###### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

###### 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	: 結晶または粉末
色	: 無色～白色
臭い	: 無臭
融点/凝固点	: (decomposes) $\geq 275^{\circ}\text{C}$
沸点又は初留点	: データなし
沸点範囲	: データなし
可燃性 (ガス、液体及び固体)	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界	: 可燃限界データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	
水に対する溶解度	: 溶ける (29mass%, 20°C)
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: 1 Pa (20°C)
密度及び/又は相対密度	: 1.85
相対ガス密度	: (空気=1) データなし
粒子特性	: データなし

### 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

データなし

**化学的安定性**

潮解性がある。

**危険有害反応可能性**

275°C以上で加熱すると、分解する。有毒なフェームを生じる。火災や爆発の危険を生じる。  
銅、鉛、銀、水銀および二硫化炭素と反応する。とくに衝撃に敏感な化合物を生じる。酸と反応する。有毒で爆発性のアジ化水素を生じる。(ICSC 0950)

**避けるべき条件**

混触危険物質との接触。  
火源との接触。

**混触危険物質**

酸、銅、鉛、銀、水銀、二硫化炭素

**危険有害な分解生成物**

アジ化水素

**11. 有害性情報****毒性学的影響に関する情報****急性毒性****急性毒性（経口）**

[日本公表根拠データ]  
(アジ化ナトリウム)  
rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)

**急性毒性（経皮）**

[日本公表根拠データ]  
(アジ化ナトリウム)  
rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)

**労働基準法：疾病化学物質**

アジ化ナトリウム

**皮膚腐食性／刺激性****皮膚腐食性**

[区分1]  
[日本公表根拠データ]  
(アジ化ナトリウム)  
rabbit 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

[区分1]  
[日本公表根拠データ]  
(アジ化ナトリウム)

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

データなし

**生殖細胞変異原性**

データなし

**発がん性**

[ACGIH]  
(アジ化ナトリウム)  
A4 (1996)：ヒト発がん性因子として分類できない

**生殖毒性**

データなし

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

[区分1]  
[日本公表根拠データ]  
(アジ化ナトリウム)  
心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性 (DFGOT vol.20, 2003; ACGIH, 2001)

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

[区分1]  
[日本公表根拠データ]  
(アジ化ナトリウム)  
中枢神経系、心血管系 (NTPTR 389, 1991)  
[区分2]

[日本公表根拠データ]  
(アジ化ナトリウム)  
肺 (NTPTR 389, 1991)

**誤えん有害性**

データなし

**その他情報**

粉状物質の一般的な有害性として、多量に吸入した場合に肺内に蓄積することによって、肺の繊維化及びこれによる咳、痰、息切れ、呼吸困難、肺機能の低下、間質性肺炎、気胸等の肺障害（じん肺の諸症状）を引き起こすことが知られている。

**12. 環境影響情報****生態毒性****水生環境有害性**

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

**水生環境有害性 短期（急性）**

[日本公表根拠データ]  
(アジ化ナトリウム)

藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)

**水溶解度**

(アジ化ナトリウム)

よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17°C) (ICSC, 2014)

**残留性・分解性**

(アジ化ナトリウム)

直接測定 (HPLC) による分解度：1% (既存点検)

**生体蓄積性**

(アジ化ナトリウム)

log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)

**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

データなし

**13. 廃棄上の注意**

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

**廃棄物の処理方法**

環境への放出を避けること。

内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

**14. 輸送上の注意****国連番号、国連分類**

国連番号またはID番号 : 1687  
正式輸送名 : アジ化ナトリウム  
分類または区分 : 6.1  
容器等級 : II  
指針番号 : 153

**IMDG Code (国際海上危険物規程)**

国連番号 : 1687  
正式輸送名 : アジ化ナトリウム  
分類または区分 : 6.1  
容器等級 : II

**IATA 航空危険物規則書**

国連番号 : 1687  
正式輸送名 : アジ化ナトリウム  
分類または区分 : 6.1  
危険性ラベル : Toxic  
容器等級 : II

**環境有害性**

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 該当

**MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止**

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

アジ化ナトリウム

水生環境有害性: 短期 (急性) 区分1 該当物質

アジ化ナトリウム

水生環境有害性: 長期 (慢性) 区分1, 2 該当物質

アジ化ナトリウム

**国内規制がある場合の規制情報****船舶安全法**

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

**航空法**

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

**15. 適用法令****当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則／法令****毒物及び劇物取締法**

毒物 (令第1条)

アジ化ナトリウム (法令番号 1)

**労働安全衛生法**

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険／有害物

アジ化ナトリウム (別表第9の9)

名称通知危険／有害物

アジ化ナトリウム (別表第9の9)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・爆発性の物

**化学物質管理促進 (PRTR) 法 (令和5年4月1日以降有効)**

該当しない。

**消防法**

危険物

第5類 自己反応性物質 危険等級 II (指定数量 100kg)

**16. その他の情報**

特になし

ここに記載された情報は作成時の知見によるものですが、必ずしも完全ではありません。取り扱いには十分注意してください。

2023年4月1日作成